

藝 振

も く じ

俳句とともに	1
第3回大分県民芸術文化祭賞一覧	2
オープニングステージ	3
平成13年度基金事業報告	4
4～9月開催の補助事業	5
3年目を迎えた九州の文化団体の連絡会議	5
加盟団体活動紹介	6
平成13年度の芸振会議	7
事務局だより	8



大分県芸術文化振興会議

発行人：脇 正人 編集人：矢野嘉昭 (題字：平 盛翁)

No.111

平成14.3



俳句とともに

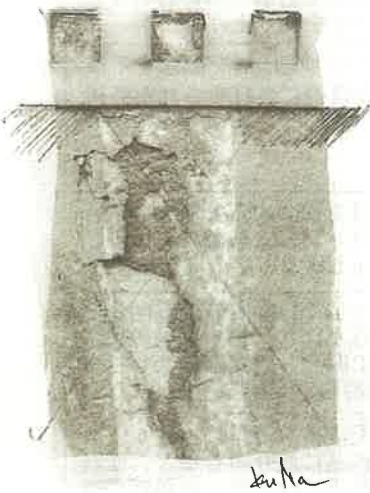
大分合同短文学の会
代表 久保青山

私が俳句を始めたのは昭和28年頃、金銭のかからぬ趣味、手帳一冊と鉛筆一本あれば足ると思い、出発したものです。それが光陰矢の如し、以来、俳句の世界に身を置き、俳句教室の主宰、指導等、俳句愛好者の増加と向上に努めてまいりました。また、一方では大分合同新聞文芸欄年間賞受賞者の会の結成に努力し、昭和39年には作品集第1輯を発行。その会も大分合同短文学の会と名称を変え、いまでは作品集も第32輯を数え、誠に感慨深いものがございます。多くの方々、何より投稿者に支えられて、ここまで積み重ねてこられたことを深く感謝しております。

俳句作品について老若男女を問わず言えることは、俳句には各自の「健康」が現れると言うことです。教室等で俳句作品の質が落ちたなと感じるとき、作者に尋ねると身体の調子がよくないと言った答えが返ってきます。平素から体と心の健康に注意して生活することが、良い作品につながります。そして、俳句に携わる殆どの人が今後生涯を通じて俳句を続けたいと言うのには驚きとともに大きな喜びを感じております。

さて、日本語がめまぐるしく変わってきている環境で、従来に比して俳句に使われる「言葉」にも変化が見られます。また、昔ながらの有季定型俳句ながら、横文字を使った俳句も目に付くようになりました。短詩型文芸(短歌・俳句・川柳・詩等)がこれから如何に進展していくのか。現状を探り、先を見つめることは意義があり、興味が尽きません。

このような活動を続けるなか、昨年の文化の日には図らずも大分県知事表彰(高齢者文化活動功労者)をいただきました。48年にわたる俳句人生に大きな励ましをいただき、深く感謝するとともに、これからは、「一人一文芸」を目指して、俳句はもとより広く文芸の愛好者を増やしてゆきたいと新たな抱負に胸中沸き立つ思いです。



久間清喜 (県美協会員)

第13年度芸術文化関係表彰（賞）者

文部科学大臣表彰・地域文化功労者 **大分県三曲協会** 大分県知事表彰・文化振興功労者 **倉田 紘文**
 (代表 野仲矢山)

大分県知事表彰・高齢者文化活動功労者 **久保青山** 大分合同新聞文化賞・芸術文化 **花柳 祐久英**

第3回大分県民芸術文化祭受賞行事一覧

賞	受賞行事	実施団体名	概要
大賞	オープニングステージ 古代宇佐物語 天の冠、地の杯	オープニングス テージ制作者一 同	日韓の交流と宇佐の伝統芸能を素材に、公募による出演者・スタッフ等の参加により、原作から舞台衣装、小道具に至るまで、全て手作りの舞台を創り上げ、本県の一人一文化の推進に貢献した。また、「ボイス」と「マスク」を分業するという斬新な演出を試みることにより、優れた表現力を発揮し、伝統芸能とマッチした完成度の高い舞台を提供した。
奨励賞	中幕行事 豊宝豊舞 (ほうほうほうぶ)	大分県日本舞踊 連盟	伝統文化の継承に努める他、地元大分にちなんだオリジナルの作品「豊の妻恋い」を発表するなど、高度な芸術性の中に親しみやすい題材を織り込んだ舞台を創り上げた。
奨励賞	閉幕行事 ミュージカル ZINC WHITE (ジンク・ホワイト)	大分県民演劇制 作協議会	30年の永きにわたり大分県の演劇界をリードした大分県民演劇制作協議会の第60作品にあたる舞台であり、モスクワオーケストラによる劇音楽の演奏など新たな試みによる意欲的な作品を提供した。
奨励賞	共催行事 第35回大分県俳句大会	大分県俳句連盟	永年にわたり、大分県の短文学の振興と発展に貢献した実績をもとに、35年の節目にふさわしい充実した内容の大会を開催した。
奨励賞	共催行事 明野レディースコー ラス30周年記念演奏会	明野レディース コーラス	地域に密着した地道な活動を続けてきた明野レディースコーラスの30周年を記念するにふさわしく、シンプルなコーラスの中に高度な技術が光るステージを提供した。
奨励賞	地域文化フェスティバル 日出城(陽谷城)築城400 年・帆足萬里没後150年 記念事業	日出町 日出町教育委員 会	「日出城」「帆足萬里」といった地域にゆかりの人物・文化財をテーマに、全国各地から約100点にのぼる資料を収集・展示し、歴史事実をわかりやすく解説するなど、文化財愛護思想の高揚と地域文化の振興に大きく寄与した。
奨励賞	若者文化イベント eENO LIVE Vol.6 (い～えの ライブ ポ リウム シックス)	eENO (い～えの)	県内で地道な活動を続けている若者たちが、日頃の厳しい練習に裏打ちされた高度な技術により様々なジャンルの音楽を親しみやすいスタイルにアレンジして提供するなど、実力ある若者たちの存在を広く県内に知らしめるステージを創り上げた。
奨励賞	参加行事 大分マンドリンオーケ ストラ第15回定期演奏 会	大分マンドリン オーケストラ	大分マンドリンオーケストラの15回を記念する演奏会にふさわしい、高度な技術に裏打ちされた芸術性の高いステージを提供した。
奨励賞	劇団OTC第20回公演 虚時記 ～みつつめの言葉～	劇団OTC	劇団創立の10周年20回目を記念する公演として、「古事記」を劇団風にアレンジし、若者らしい獨創性に富んだステージを創り上げた。
奨励賞	参加行事 民謡の祭典	大分県民謡連盟	連盟結成3周年の記念として、県内の民謡団体を一堂に集結し、大分県はもとより、日本全国の民謡を活気あふれるステージで紹介し、民謡の楽しさ・ふるさとの素晴らしさを聴衆に再発見させた。
特別賞	開幕行事 新世紀 心に鼓 (はず) む 民舞の華	大分県民踊連盟	長年の修練による優れた技術を背景にワールドカップをテーマとした創作作品に取り組むなど、伝統の中に新しい感覚を取り込み、技術性・話題性に富んだステージを提供した。



オープニングステージ

【型破りな舞台】～華麗かつ斬新に

劇団吉祥じゅん&ワルキューレ

主宰 吉祥 じゅん

『県民芸術文化祭オープニングステージの演出をお願いします。』突然振ってきた依頼に正直驚いてしまった。

というのも九州の演劇界で“異端児・型破り”と呼ばれている自分に、まさかお役所からお声が掛かるなんて。実は三度程お断りしたのだ。【舞台はお客様のもの・舞台に立つ側が楽しむものではない～舞台には舞台の神様がいる】これをモットーに舞台人として二十年近く闘ってきた自分が県の行事で演出など、かえって迷惑をかける事になるのではないか…。

しかし、【何事も挑戦・やってから吠えろ】も自分のモットー、承諾するに至ったのだ。

問題はこの脚本を如何に吉祥演出として料理するか～これが最大の難関。思い切りだけは人一倍。閃いたのは仮面劇。そして演技手をマスクプレーヤー・ボイスプレーヤーの二種に分ける～勝つにはこれしか無い！

『勝つ』とは、お客様に喜んで頂く事。作り手・演技手のマスターベーションではなく、その時間がお客様にとって有意義であったと満足される事。

舞台スタッフ、制作スタッフ、そして出演者皆が一丸となり、あの苦しい夏を乗り越え本番に向かう。舞台経験者は作品を補い、また未経験者は稽古空間を活気の気の色でいっぱいにし、素晴らしいチームワークで完成した【古代宇佐物語 天の冠・地の杯】(出演者総勢約百八十名)。大分の歴史に残る華麗かつ斬新な舞台作品が誕生した。しかも県民芸術文化祭大賞受賞のオマケ付き。この作品に携わる運命だったのだと今は過去を振り返り感謝々。

モットーは【挑戦・やってから吠えろ】。この型破りな自分を県の皆様は知ってか知らずか…。このままの自分でこれからも走っていこう。そう、舞台の神様はいつも我々舞台人を見ているのだろう。



終了後、舞台に揃った出演者たち

「渡来人の集落」の場



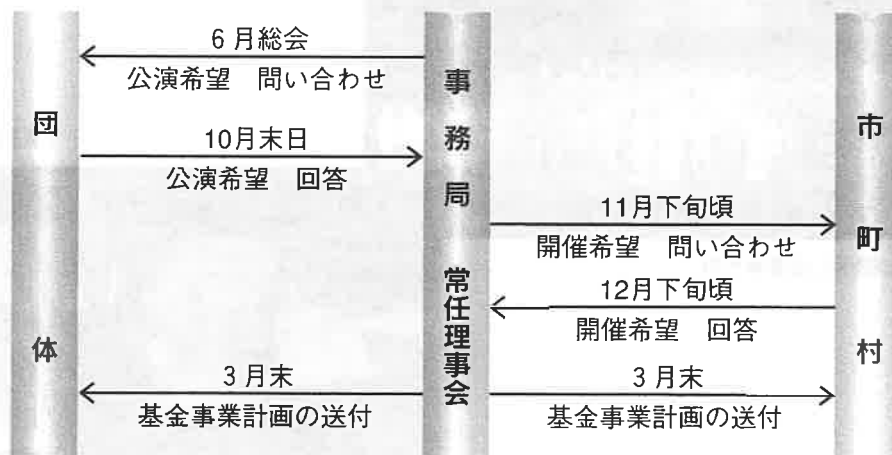
平成13年度基金事業報告

種 別	市町村名	鑑賞者数	会 場 名	実施時期	公演団体
ファミリー芸術劇場	国 東 町	320	くにさき総合文化センター	10月20日	大分県県民オペラ
ファミリー芸術劇場	大 山 町	300	大山町文化センター	7月12日	花 の 会
学校巡回公演	耶馬溪町	86	柿坂小学校	5月22日	カサデギターラ
学校巡回公演	耶馬溪町	120	山移小学校	5月29日	カサデギターラ
学校巡回公演	安 岐 町	96	南安岐小学校	6月6日	大分県人形劇サークル協議会
学校巡回公演	姫 島 村	295	姫島中学校体育館	7月12日	女声コーラス朝日
学校巡回公演	津久見市	45	千怒小学校	7月20日	コールレティッヒ
学校巡回公演	直 入 町	55	下竹田小学校	10月20日	グループU N O
学校巡回公演	津久見市	528	津久見小学校	10月20日	大分県庁職員吹奏楽団
学校巡回公演	蒲 江 町	320	蒲江町中央公民館(小)	11月6日	Y O の 会
学校巡回公演	蒲 江 町	350	蒲江町中央公民館(中)	11月6日	Y O の 会
学校巡回公演	国 見 町	249	国見中学校	11月18日	大分マンドリンオーケストラ
学校巡回公演	山 香 町	249	山香小学校	12月1日	大分県庁職員吹奏楽団
学校巡回公演	武 蔵 町	406	武蔵町中央公民館	12月11日	大分県県民オペラ
学校巡回公演	朝 地 町	233	朝倉文夫記念館	12月15日~24日	高山辰雄ジュニア県美展
文化キャラバン	日 田 市	723	日田市民会館	10月22日~28日	大分県美術協会(日洋彫工)
文化キャラバン	国 見 町	450	国見町生涯学習センター	1月19日	グループU N O

●基金事業計画が決まるまで

平成13年6月14日の部門別会議では、ファミリー芸術劇場、学校巡回公演、文化キャラバンについて毎年同じ団体が公演をしており、どのように決まるか分からないとの意見がありました。

公演団体については全団体会員の希望をとり、開催希望市町村との希望と合わせて計画しています。流れを簡単な図にしましたので、希望のある団体会員は参考にしてください。



4～9月開催予定の補助事業

実施時期	事業名	会場	主催団体
4月27日	平成14年度春季地方演奏会	エイトピアおおの	大分大学マンドリンクラブ
4月10日～5月30日、6月10日～7月10日、8月11日	滝廉太郎記念コンクール	音の泉ホール	大分音楽研究会
5月26日	第26回定期演奏会	グランシアタ	大分交響楽団
5月28日～6月2日	'02春季大分県美術展日洋彫工展	大分県立芸術会館	大分県美術協会
5月12日	第50回大分県短歌大会	大分文化会館	大分県歌人クラブ
5月14日～19日	'02春季大分県美術展写真展	大分県立芸術会館	大分県美術協会
5月21日～26日	'02春季大分県美術展書道展	大分県立芸術会館	大分県美術協会
6月22日	第21回公演「透明な銃声」	大分県立芸術会館	劇団OTC
6月26～30日	第23回九州国画写真展 大分県支部展他	大分県立芸術会館	九州国画会
7月2～7日	第29回行動大分作家展	大分県立芸術会館	行動大分作家協会
7月7日	第32回都山尺八演奏会	大分市能楽堂	都山流尺八楽会大分県支部
7月14日	第26回大分県マンドリン連盟フェスティバル	はさま未来館	大分県マンドリン連盟
7月25～28日	日韓現代絵画交流展	アートプラザ	日韓現代絵画交流展
7月28日	第49回歌帖社全国短歌大会	豊泉荘	歌帖社
8月25日	15周年記念大分県少年少女合唱祭	大分県立芸術会館	大分県少年少女合唱連盟
8月31日～9月8日	第45回別府市美術展	別府トキハ	別府市美術協会
9月1日、9月3～8日	'02大分二紀展	大分県立芸術会館	大分二紀会
9月1～8日	第32回りぶの会展	大分県立芸術会館	りぶの会
9月3～8日	2002大分自由美術展	大分県立芸術会館	大分自由美術
9月	創作舞踊研究会 第17回公演	かんたん倶楽部	創作舞踊研究会

詳しくは主催団体にお問い合わせください。

3年目を迎えた九州の文化団体の連絡会議

今年度の「九州・沖縄文化団体連絡会議」が、去る2月12日福岡市で九州沖縄各県の団体役員や職員など19人が参加して開催されました。この会議は、各県の情報交換などを目的に、福岡県が発起人となって平成11年2月に組織されたものです。

各県から提出された協議事項を検討した結果

(1)「全日本文化団体連合会」の社団法人化の今後の見通しの再確認と、目標をNPO法人化へ変更することなども視野に入れ積極的に検討するよう全文団連本部に提言する。(2)「九州は一つ」の自覚を高めて文化庁、メセナ企業、その他文化団体との情報の交流に努める。(3)各県は今後とも「九州・沖縄文化団体連絡会議」を通じて情報交換の充実と、文化庁など公共機関をはじめ経済界などに対して、文化団体を統一した大きな力として必要な提言、請願、陳情活動などを行っていく。(4)昨年11月30日に成立した「文化芸術振興基本法」を文化の振興に有意義に活かすよう努める。

など、4つの事項が同意されました。その他予算と組織と事業活動の情報を交換しました。

なお、前述の全日本文化団体連合会は、平成8年に「法人化準備委員会」を組織して社団法人化を検討してきましたが、実現しませんでした。その理由は、(1)「全文団連」の加盟団体が26県と少ないこと。(2)法人化のため各県からの基本財産の拠出金を計画したが集まらなかったこと。(3)最近になって文化庁の法人化条件が厳しくなったこと。などのためです。

この法人化の活動の発端は、国の助成をうけ「全文団連」が主体となって「国民文化祭」を開催することが目的であったようです。



白日会大分支部について

白日会大分支部長 佐藤 至良 (公春)

白日会大分支部は1982(昭和57)年に結成。現在、大分県在住の中央美術団体「白日会」の会員、準会員と白日展一般出品者の計25人で支部を構成しています。

支部規約2条には「当支部を白日会下部組織の地方研究団体とし…」とあり、それに従って相互の研さんと研究成果の発表により地方文化振興に寄与しようと、白日会大分支部展を年1回開き、その際に総会と合評会を行っています。昨年の支部展は第17回展に当たり、大分市アートプラザで46点の油絵、水彩、版画を展示し、梅雨の季節にもかかわらず約600人の鑑賞者が訪れてくれました。本年も6月25日から30日までの開催を計画しています。

なお白日展出品に際して、支部特別会員の中山忠彦氏(本県出身、芸術院会員)から寄せられる懇切な作品批評も支部会員一同の大事な糧になっていることを付記します。



白日会大分支部展 (大分合同新聞掲載)



様々な顔を持つ「ダンススポーツ」

大分県アマチュアダンス協会会長 藍澤 寛一

ダンススポーツは、その人の気持ち・取り組み方でいろいろな姿に変化します。

例えば、娯楽と思えば社交ダンス、老化防止・健康維持と思えば生涯スポーツ、技術を学ぶことで生きがいを感じるなら生涯学習、勝敗だけを考えるなら普通の競技スポーツ、音楽に対する身体表現と捉えるなら舞台芸術という様にです。

そういうことで、私達の普段の活動は、多方面にわたっています。例えば、競技会、技術習得認定会、指導員育成・講習会、親睦交流会、技術発表会などの開催です。活動場所は今のところ体育館など広い会場です。

しかし、いつかは、「身体表現としてのダンススポーツ」を、芸術会館の舞台上、観客に感動してもらえるように振り付けをしてみたいと思っています。



競技会風景

組織検討委員会等経過報告

平成12年から開催、芸術の組織運営について検討を始めた組織検討委員会では前号でもお知らせした部門別懇談会の会員の意見等を参考に、各テーマに必要なオブザーバーの出席を加えるなどしながら、今年度も更に協議を重ねてきました。

協議の焦点は基金及び基金を財政基盤とした基金事業等の見直しについてです。

これらの問題は個々の会員の活動に直接関係するものです。そのため、実際の検討に取りかかるにあたり、会員の意見を聞く必要があるということで意見の一致を見ました。

そこで今回、常任理事、団体代表理事を通して、関係団体に対するアンケートを実施することにしていきます。できるかぎり、会員の意見を集約して14年度以降の芸術組織・事業の運営の参考にします。ご協力をお願いします。

常任理事会議

組織検討委員会の協議を続けるなか、芸術の改革を地に足のついたものにするためには、それぞれの役員がその機能を果たすことが必要という考えから、常任理事4名が自発的に会合を持ち、まず常任理事の役割についての話し合いを行ないました。

2月14日にの常任理事会において、常任理事4名が部門別理事の核となって、理事会がより活発に機能するよう働きかけをしていきたいとの提案がされました。今回この提案に基づき、会員の意見集約のとりまとめをお願いしています。

大分県文化年鑑編集検討委員会

平成12年度総会で設けられた文化年鑑編集検討委員会は2001年版の編集に向けて検討してきました。「大分県の文化小史の役割を果たす文化のハンドブック」という創刊からの編集方針を基本に、より芸術らしい編集を目指しました。装丁も従来のB6からA5にし、ページ数を減らして利用しやすいサイズになります。

編集・執筆委員の皆さん、ありがとうございました。

いま、2001年版は執筆委員、関係各機関、市町村の皆さんからの原稿をいただき、編集作業に入っています。例年どおり14年度の通常総会で配布します。

平成13年度「文化年鑑」編集委員及び執筆委員名簿

ジャンル	氏名	ジャンル	氏名	ジャンル	氏名
文芸部門編集委員	佐々木均太郎	執筆委員 写真	河野 公記	執筆委員 洋舞	佐藤 朱音
執筆委員 小説	佐々木均太郎	執筆委員 デザイン	波多野義孝	執筆委員 日舞	花柳笹之丞
執筆委員 現代詩	首藤 三郎	音楽部門編集委員	辛島 光義	執筆委員 民踊	伊坂 香里
執筆委員 短歌	伊勢 方信	執筆委員 声楽	堤 俊博	演劇部門編集委員	中沢とおる
執筆委員 俳句	香下 寿外	執筆委員 室内楽	辛島 光義	執筆委員 自立演劇	清末 典子
執筆委員 現代俳句	足立 雅泉	執筆委員 吹奏楽	斎藤 哲哉	執筆委員 高校演劇	安部 証
執筆委員 川柳	猪俣 吞童	執筆委員 オーケストラ	松尾 英一	児童文化部門編集・執筆委員	首藤 悦爾
執筆委員 連句	佐々木均太郎	執筆委員 作曲	野崎 哲	能楽部門編集・執筆委員	緒方 基秀
執筆委員 俚謡	土屋 北彦	執筆委員 合唱	宮崎 彰	生活文化部門編集・執筆委員	編集事務局
美術部門編集委員	十時 良	執筆委員 オペラ	小長 久子	文化財部門編集・執筆委員	江田 豊
執筆委員 洋画	渡辺 恭英	執筆委員 軽音楽	中野 幸和	表紙デザイン	久保木真人
執筆委員 日本画	鈴木 忠実	執筆委員 邦楽	野仲 矢山	仕切り紙カット	汐月 顕
執筆委員 彫刻	柚野 朝男	執筆委員 民謡	安東 陽		十時 良
執筆委員 工芸	佐藤 武郎	執筆委員 吟界	福永 瀧霊		中野 幸和
執筆委員 書道	平 晟齋	舞踊部門編集委員	佐藤 朱音	編集事務局	久保木真人

事務局だより

● 通常総会のお知らせ

平成14年度通常総会は平成14年6月13日（木）県共同庁舎14階大会議室で開催の予定です。別途ご案内します。是非出席をお願いします。

● 団体代表・事務局等の交替は届け出を

団体事務局の所在地、代表者、事務局等に変更がありましたら、芸振事務局までお知らせください。FAX可

● 会費納入のお願い

平成13年度会費が未納の会員はなるべく早く納入してください。

新 会 員 紹 介

■ 団体会員

部門	団体名	事務局所在地	代表者氏名	事務局長氏名	団体の目的	会員数	設立年月日	設立後の経過
美術 33	大分の書を求める会		平 晟齋	戸口 勝山	書の制作活動、作品発表を通して地方の文化活動に参加する。	11名	平成3年 4月1日	・1991～1995年 会員9人で設立、作品展をトキハで実施。5回展までは9人展とする。 ・1996～2000年 11人展としてトキハ会館で作品展を実施。第10回展記念誌発行。
美術 34	大分独立美術協会		黒川 洋孝	佐藤 健二	独立展（東京都美術館）への作品発表、大分独立展の開催、及び研修。	12名	平成7年 4月1日	・1995年～ 独立展出品（東京都美術館） ・1999年 大分独立展の開催（アートプラザ） ・2002年3月 大分独立展開催予定（大分県立芸術会館）研修会開催（年3回程度）
音楽 83	オペラ青の洞門実行委員会	下毛郡本耶馬溪町大字曾木1800番地 本耶馬溪町教育委員会	小野 和彦	北山 一彦	地域の芸術的・文化的視野を広げ、新たな人材の育成や既存の文化活動の資質を向上させるため。	25名	平成11年 4月1日	・設立後はオペラ青の洞門の制作、上演に向け「コーラスもみじ」を結成し練習を続けている。また、公演終了後は現在町内で活動中の芸術・文化団体を統合し、平成14年4月1日をめぐり本耶馬溪町文化協会を発足の予定である。
音楽 84	現代箏曲奏絃会		鶴田 恵子	岩崎ひろ子	日本の伝統芸術である箏曲の発展	30名	昭和42年 10月	・箏曲リサイタルの開催 ・平成12年日蘭交流400年祭レセプションにて演奏 ・平成13年グァテマラ大統領来県レセプションにて演奏

■ 個人会員

氏 名	住 所
岡野 博文	████████████████████

首藤コレクション

臼杵市出身の首藤定氏が戦前戦中旧満州において収集した膨大な美術品の一部でロシア国立東洋美術館所蔵の120点が、平成12年、別府市において“幻の日本画名品展”として公開され、1か月間26,000人が鑑賞し話題になりました。

その後、この「首藤コレクション」の里帰りを推進しようという気運が高まっています。今年5月に設立が予定されている「首藤コレクション里帰り大分県推進協議会」では里帰りを實現し、さらにこれを通じてロシアとの学術文化、スポーツ、経済等の交流に貢献したいとしています。大分県芸術文化振興会議に対してこの運動への協力が依頼され、常任理事会、理事会等でこれを了承し、積極的に取り組むことになりました。